

# 大型バス自動運転 愛知県で実証参画

オリコンサル

オリエンタルコンサルタンツは、名古屋市のガイドウェイバス志段味線（愛称「ゆとりーとライン」）への導入に向け、大型バス自動運転の実証実験に参画する。愛知県尾張旭市の守山南部処分場の管理道路に実験区間を設け、21日まで自動運転用センサーを使った3種類の誘導方式による車両制御の精度を検証する。アイサンテクノロジィ、三菱商事が参加。オリエンタルコ

ンサルタンツは実験の計画と結果の評価を担う。緊急時に運転士が介入する「自動運転レベル2」で実験する。実験区間では、ガイドウェイバス専用道のうち高架区間の幅員や急カーブを部分的に再現。運転士が乗った状態で自動運転技術を活用したシステムにより、ハンドルや加減速を自動で操作する。実験では▽道路に敷設した磁気マーカーを車両側の

実証実験に使う大型バス  
（報道発表資料から）



センサーで読み取って自車位置を特定するGMPSS（磁気マーカーシステム）方式▽複数の人工衛星からの情報を基に衛星からの距

離を計測して自車位置を測定するGNSS（全球測位衛星システム）方式▽走行経路の設定に用いる3D地図により自己位置を推定する3Dマップ方式の3種類を試す。